

2021年5月28日

各位

会社名 東和フードサービス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 岸野 誠人
 (コード: 3329 東証 JASDAQ)
 問合せ先 取締役執行役員管理本部本部長 長谷川 研二
 (TEL 03-5843-7666)

2021年4月期通期業績予想と実績値の差異及び剰余金の配当(期末配当)に関するお知らせ

当社は、2021年2月26日に公表いたしました2021年4月期通期業績予想と実績値との間に差異が生じました。加えて、本日開催の取締役会において、2021年4月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしました。以上のことにつきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2021年4月期通期業績予想と実績値の差異(2020年5月1日~2021年4月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	7,170	△1,100	△500	△300	△37円17銭
今回実績(B)	7,029	△1,134	△247	△61	△7円57銭
増減額(B-A)	△141	△34	253	239	—
増減率(%)	△2.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年4月期)	10,230	112	166	△23	△2円85銭

2. 差異の理由

新型コロナウイルス感染拡大により2021年4月期第4四半期におきましても緊急事態宣言ならびにまん延防止等重点措置に対応する営業時短協力の影響により、経常利益ならびに当期純利益において業績予想との差異が大幅に生じております。

経常損益におきましては、休業および時短協力の伴う雇用調整助成金の支給に加え、営業時短協力金の算定基準の変更により、助成金収入が860百万円と当初見込みよりも増加したことによるものです。最終損益におきましては、売上高が新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準まで戻らないという仮定に加え、政府、自治体からの要請に基づき、長引く営業時間短縮等の影響からあらためて減損損失の判定を行った結果、146百万円の固定資産の減損損失を含んでおります。

(注) 予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

3. 剰余金の配当（期末配当）

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のための内部留保を行いながら、株主に対する利益還元を行うことは経営上の重要課題と認識しております。経営基盤の強化と自己資本比率の向上を図りつつ、安定的な配当の継続を基本としておりますが、2021年4月期の業績見通しを踏まえ、期末配当金につきましては3円00銭とさせていただきます。

	決定額	直近の配当予想	(ご参考) 前期実績 2020年4月期
基準日	2021年4月30日	同左	2020年4月30日
1株当たりの配当金	3円00銭	—	3円00銭
配当金の総額	24百万円		24百万円
効力発生日	2021年7月6日		2020年7月6日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

※当社では、会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行う事ができる旨を定款に定めております。

以 上